

第3回喜多方市ものづくり交流フェア「理科工作・実験教室」

大竹 哲也

日 時：平成30年10月6日（土）10：00～15：00

場 所：喜多方プラザ

テーマ：「スペシャルスライムをつくろう」・「光の万華鏡をつくろう」

参加者：（スライム）120名、（万華鏡）45名

指導者：佐藤和昭（統括技術長）、大橋栄市（地域連携担当）、村上 聡（計測技術室）、藤原 渉（機器分析技術室）、水沼里美（機器分析技術室）、堺 三洋（計測技術室）、山吉康弘（副統括技術長）、大竹哲也（副統括技術長）

喜多方プラザにおいて開催された第3回喜多方市ものづくり交流フェアへ参加し、理科工作教室を開催した。この行事は、喜多方市内の子どもたちへ市内のものづくり企業の紹介や、ものづくりを体験してもらうことを趣旨として開催される喜多方市主催のイベントである。隔年で開催されており、当技術部は第1回開催時からすべて参加している。今回は福島大学や会津大学の他、地元の企業を含めて13のブースの出展があった。その内3ブースが山形大学工学部からの出展である。技術部からは「スペシャルスライムをつくろう」と「光の万華鏡をつくろう」の2ブースでの出展を行なった。前回参加時に多数の来客への対応に多忙を極めたため、当日はスタッフ8名と人数に余裕をもって赴いた。来場者は友達同士の小中学生、小さなお子さんを連れた家族連れが大部分である。どちらのブースも来場者に興味を持ってもらえたようで、多数の方に体験してもらうことができた。会場ではスタンプラリーが行われ、5ブース以上体験すると景品がもらえるとのことで、終盤には慌ただしく駆け回る姿も見られた。今後の参考のために他のブースもじっくり見て回りたいかったが、まとまった暇が取れず果たせなかったのが残念である。

